

夢や希望に満ちた

活力あるまちづくりを



明和町長
齋藤 憲

町民の皆様、新年明けましておめでとございます。

皆様にはご家族おそろいで、輝かしい新春を健やかに迎えのこころからお慶び申し上げます。また、常日ごろより町政各般にわたりましては、温かいご理解とご支援を賜り、衷心より厚くお礼を申しあげます。

早いもので、明和町も町制施行以来5年が経過し、昨年、町制施行5周年式典を挙行させていただきました。この間、お陰様で町政も順調に進んできております。しかしながら国の内外に目を向けますと、北朝鮮による核開発疑惑や拉致問題、イラク戦争後の復興支援の問題。そして国内でも宮城県北部、北海道道東を中心とした地震による自然災害等、特に国民の安全保障に対する問題がクローズアップされた年でもあったような気がいたします。

また、少子高齢化の急速な進行、

国際化・高度情報化がますます進む中で、経済不況による産業構造の改革など社会経済が大きな変革を迎えており、地方においても地方分権の進展や住民の価値観、ライフスタイルの多様化が地域社会や住民生活に大きな変化をもたらした年でもございました。

このような厳しい状況の中ではございますが、本町は幸いにも町議会をはじめ、町民の皆様のご支援、ご協力によりまして、健全財政を堅持しながら昨年に引き続き住民基本台帳ネットワークシステムの構築並びに総合行政ネットワーク整備事業、また新しいわ創造プラン策定事業、そして「環境都市宣言」に基づく環境基本計画の策定、ISO認証取得事業所に対する奨励金交付事業、役場における環境ISO認証取得事業等ソフト事業をはじめ、主要事業としての役場新庁舎建設事業、また公共下水道事業など従来からの諸事業等も併

せて実施し、次代に向けての基盤づくりを着実に推し進めることができました。

新たに迎えた平成16年は、第四次総合計画の仕上げの段階として位置付け、「未来を創造する明和文化のまちづくり」の実現のために、夢や希望に満ちた活力と潤いのあるふるさとへの創造に向けて、なお一層皆様の創意と英知を結集し全力を傾注してまいりたいと考えております。そのためには、4年目を迎えた公共下水道事業をはじめ、農業集落排水事業の推進、昭和橋の架け替えおよび関連の国道122号線渋滞緩和のバイパス建設事業の早期実現など、残された重点課題に積極的に取り組んでまいり所存でございます。また、役場庁舎の整備については、役場庁舎整備検討委員会の答申に基づき、町民の利便性を第一に考慮しながら、行政の拠点にふさわしい庁舎の建設に向けて整備を進めているところでございます。庁舎建設の資金調達については、住民参加型のミニ公募債「めいわ愛町債」を発行いたしました。これは地域住民が資金の供給者となり、事業に参加することにより、行政への参加意識の高揚を図るものでございます。どうぞ今後とも相変わらぬご支援、ご厚情をお願い申し上げますとともに、皆様がたのご健康とご繁栄を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。